

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

238号



2021年7月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 羽田見直し議員連盟に期待

国会と都議会に「羽田問題見直し議員連盟」が結成されています。先日の都議選でも都心低空飛行を問題視する議員が当選しています。この人達に議連に参加してもらい、新航路の見直しを求めるため、「羽田問題解決プロジェクト」が院内集会の開催等を計画しています。

今回の都議選ではコロナとオリンピックが最大の争点となった気がしますが、衆議院選ではもっと根深い問題を見据えねばならないでしょう。赤木ファイルは？法務大臣経験者の選挙違反の任命責任は？軍資金の出所は？こういう政治不信をまねいた腐敗の原因は？

○ 羽田問題の訴訟 第三回口頭弁論

晴天の日と限らず、無遠慮に頭上を飛んで行く旅客機。日本の人権に対する意識の低さを物語っています。裁判の次回は9月22日(水)15:00 103号法廷です。

○ 東武ストア（フェンテ）跡地 駐車場へ

東武ストアがあったときわ台駅西側は、現在更地になっています。一階を店舗とするマンションがまた建つのかと思っていましたが、このコロナの影響で当分駐車場となるそうです。

このまま何も無いと、広々としてせいせいするのですが…

バザーの報告

7月4日の都議選に合わせていつものバザーをいつもの場所で開催しました。

売り上げが7万以上になりました。有難うございました。ヤフオクやメルカリ、100円ショップなどで安く品物が手に入る時代となり、善意に頼るバザーはかつてのようには売れません。労あって効少なしなのですが、街の人達との交流の場として機能している側面があります。今年は秋か冬に衆議院選挙があるので、残った品物はそれまでストックしておくことにしました。秋にはまたよろしくお願い致します。

はなづくりの会のマーマレードは完売し、22,500円となり、球根代が充分払えます。ご協力有難うございました。

○ オリンピック始まる



<選手は活躍>

国民の多数が危惧する中で強行されたオリンピック、コロナの緊急事態宣言で外出自粛なのでいやでも自宅のテレビで観戦するしかありません。人流が減らないのは若者達の無言の抵抗なのかもしれません。

各選手の活躍に、それぞれのこれまでの苦労や廻りの支援の厚さが報道されて、それなりに感動を与えているとは思いますが、しかし日本ばかり、メダルばかりに執着し、個人より国意識が強いのはオリンピックの精神に反するのでは？

<開会式も期待外れ>

ピクトグラムの演技が面白かったぐらいで、こういう演出には日本人は不向きのような気がします。コロナ禍の中で反対が多いのですから、もっと簡略化した方が良かったでしょう。他の国が派手にやって成功したからと言って張り合うのは馬鹿げています。

コロナ禍で医療逼迫

オリンピックは進行していますが、都と近郊三県の感染者数は爆発的に増加し、過去最多を記録しています。この事態は専門家がとくに警告していたのですが、政府は楽観視していました。一般の医療必要患者も命に関わるのに後回しにされたり、自宅療養などと称して放って置かれる事態だけはごめんです。

赤字オリンピックの結末

酷暑の東京を顧みず、アメリカ企業の放映権のためにこの時期開催するオリパラなので、放映権による利益はしつかりIOCに入るはず。パンデミック下にも拘わらず無理して、本当に無理して開催している日本に少しでも廻すべきではないだろうか。

日本国民・東京都民は大赤字を全部背負わされるのだろうか。とばっちりの自肅で倒産・貧困に追い込まれた人も少なくない。ハイエナと称されるIOC関係者にも応分の負担を求めべきではないだろうか。

もう一つ目を光らせていなければならぬのは、この全ての会計報告についてだ。長野冬季オリンピックでの恥ずべき実行委員会の行動を思い出さなければならぬ。なんと会計帳簿を焼却して証拠を隠滅したのだ。口実は保管する場所がない、ということだった！

東京オリンピックでそのような犯罪を再現させてはならない。全ての人に注意を喚起しておきたいと思う。

空き家が増えている？

良好な住宅地として定説のある常盤台にも、かなり空き家が増えてきたのではないかと、二丁目のYさんの感想です。

その背景には介護が必要となり施設に入る人もいるでしょうし、このコロナ禍でローンの支払いが重荷となり、やむなく手放す人もいるのでしょうか。

欧米では内装は変えても外観は何世紀も古いままです。都市景観はそうして守られています。日本は新しい家を好むので、勿体ないが建てて数年の家も更地にしてしまいます。

儲けのみが目的の不動産会社

土地の歴史・特性を無視

常盤台にはしゃれ街協議会という団体があります。東京都のしゃれた街並み推進条例に基づいて作られた景観ガイドラインに沿って、常盤台一・二丁目の全ての建築行為について協議しています。解体や改築・新築など、板橋区とは別にこの住民団体から合意を得なければならぬことになっています。

しかし、最近では悪質な業者もいて、住宅環境としては劣悪となる旗竿地を作つてまでも土地を細分化して早く売ろうとするケースも出てきました。Aさんの隣がそんな業者によって旗竿地となつてしまい、ぎりぎりに建てられた結果、Aさんの家の一階は全く日が当たらなくなつてしまいました。常盤台の歴史的意味も価値も理解していない業者には協議会も苦勞しているようです。

常盤台公園のはなづくり

松葉ボタンやスベリヒユは指でちぎつて挿すだけで、梅雨時は根が付きまします。花壇の手前部分にいくつか挿してみるとうまくも可愛い花を咲かせました。

角の花壇ではアガパンサスが白と紫の花を咲かせています。縁取りとしては、花が長く突出するのが通行の邪魔になるのが難点でしたが、丈夫で手入れ要らずが何よりの植物です。

植え込みの植物が枯れる原因はやはり子ども達の踏み込みでした。北側の斜面はフックスウヤキツヨウソウが綺麗にカバーしていたのですが、最近目立って枯れたり弱つていて、踏みつけられた跡が続いています。立て札の効果もあまりなく、たまたま見かけて注意してもその場しのぎです。一緒にいるお母さんらしき人にも言ってみました。楽しく自由に遊ばせたい気持ちなのでしょう。

ヒマワリの種が二袋配られたのですが、丁度良い空き地がなかったのです。来年の夏蒔くことにします。今、角に1本背の高いヒマワリが咲いていますが、去年のこぼれ種なのです。

